

東京都土地改良だより

第158号

檜原村

ほっさわ

日本の滝百選「払沢の滝」

水土里ネット東京

冬の景観

秋の景観



- 誌面の概要 -

- ・ 新年のご挨拶
- ・ 令和5年度農業基盤整備関係予算の概要
- ・ 第44回全国土地改良大会 沖縄大会（2022.11.22開催）
- ・ 第45回全国土地改良大会 福井大会（2023.10.11開催予定）
- ・ 子ども絵画展で水土里ネット東京会長賞等11作品！



新年のご挨拶



東京都土地改良事業団体連合会

会長 山下 奉也

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より水土里ネット東京の業務運営並びに農業基盤整備事業の推進に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、一時期、新規感染者数が低い水準で推移し正常化の期待もあって、感染防止に留意しながらウィズコロナのスタンスで業務に取り組んで参りましたが、今なお収束の見通しが立たないまま4年目を迎えようとしています。

一方、昨年2月にロシアがウクライナへ侵攻したことを背景に、食料流通の機能不全や原油価格の高騰が原材料・エネルギー・食料品の価格に反映するなど、国民生活に新たな課題が生じた一年でありました。

食料価格の高騰や供給の不安定化は、食料自給率が低迷し輸入食料に依存するわが国にとって、食料安全保障に大きな影響を及ぼすことが浮き彫りになりました。

コロナ禍をはじめロシアの侵攻などが終息に向かい、平穏な生活と経済の回復を取り戻すことが出来る一年になりますよう願う次第であります。

さて、農林水産省の令和5年度農業農村整備事業関係の予算は、全国の土地改良関係者の熱い要請活動もあって、ほぼ前年度当初予算の規模が確保されております。

農業が成長産業として持続的に発展していくためには、確保された予算を効果的に生産基盤の整備に活用し、食料等の農産物を安定的に供給するという役割を果たしていかなければなりません。

昨年、農業基盤整備関係について幾つかの法改正が行われました。その一つは土地改良法の改正です。近年、全国各地で頻繁に発生する豪雨災害等に対して、迅速に対策を講じるための土地改良制度などの見直しをはじめ、土地改良事業団体連合会が会員に対して行なう事業の内容が拡充されております。

また、農地の遊休化や耕作放棄地が増加するといった課題に対処するため、農山漁村活性化法と農業経営基盤強化促進法も一部改正され、将来の農用地の利用を見据えた土地利用計画に基づいて農用地を保全し適切な利用を推進するための整備を行なうこととしています。

地域農業を振興していくうえで、農業従事者の確保と農業基盤の整備は一体的な取り組みが必要不可欠であります。

本会と致しましては、東京都をはじめ会員市町村並びに土地改良区の皆様方と連携しながら、東京都が確保した農業基盤整備に関する予算を有効かつ効果的に活用して、東京農業の発展に向けて役職員一丸となって取り組んで参りますので、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新年のご挨拶



東京都産業労働局農林水産部

農業基盤整備担当課長 渋谷 圭助

新年、明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、謹んでお祝い申し上げます。

日頃より東京都の農業振興施策の推進にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大や不安定な世界情勢の影響による資源・資材の高騰、さらに記録的な円安などに見舞われ、多くの農業関係者にとってご苦勞の多い一年ではなかったかと思えます。

東京都においても、農業資材の価格高騰や物資調達にめどが立たないことによる納期末定等の影響を受け、やむなく補助事業の中止や計画を変更する等、農業者にも大きな打撃がありました。

本年においても物価高騰が予想されますが、引き続き区市町村と連携しながら、事業を推進してまいります。

さて、東京都における令和5年度の基盤整備に係る取組としましては、大賀郷農業用水施設（八丈町）の整備に着手することや、農業集落排水施設（神津島村）の整備、農地防災関係の銚子の口（八丈町）や西原（三宅村）ため池の改修工事のほか、小笠原母島における貯水施設の整備、農道の改修工事を進めてまいります。

さらに、区市町村の農地保全の取組や農家の農地整備等を支援し、都内全域で農地の保全、農地・農的空間の創出、多面的機能の発揮に向けた取組みを推進する新規事業「未来に残す東京の農地プロジェクト」を予算案に計上しております。

今年度は、土地改良区の複式簿記化の支援として、都が土地改良事業連合会に委託し、資産評価を基に維持管理計画書の作成を行っています。東京都におきましても、農業農村整備事業の円滑な推進を図るため、引き続き土地改良事業団体連合会との連携を図りながら、区市町村、土地改良区の支援をしてまいります。

また東京都では、東京の農業を取り巻く社会経済情勢の変化に対応し、持続可能な農業生産と農業の経営力強化、農地の保全に向けた施策を展開していくため、現行の「東京農業振興プラン」（平成29年5月）の改定を進めています。

この中では、限られた農地を有効に活用していくには、農業用水路や農道など生産活動に必要な基盤整備が重要とし、東京農業の生産活動を支えるインフラであるだけでなく、潤いある住環境の提供、四季折々の景観形成など様々な恩恵をもたらしていると位置づけ、次世代への着実な継承に向けて、各地域が行う農業基盤の維持・保全や整備を適切に支援するとしています。

現在、広く都民の皆様からご意見を募集しており、いただいたご意見を踏まえて、令和5年3月に新たな「東京農業振興プラン」を公表する予定です。

引き続き、区市町村、土地改良区等が実施する農業基盤整備事業に対しまして、全面的に支援してまいりますので、要望等ありましたら、何なりとご相談いただければ幸いです。

令和5年度農業基盤整備関係予算の概要（東京都）

令和5年度の農業基盤整備関係の予算は、基盤整備促進や農地防災等の国庫補助事業の増額と未来に残す東京の農地プロジェクト事業が新規に追加されたことにより、約22.7億円（対前年比153.7%）が計上されています。

【主要な事業】

1 基盤整備促進：135,669千円～農山漁村地域整備交付金

農道及びかんがい施設等の農業基盤の整備を行い、地域の実状に応じた農用地の高度利用による農業生産性の向上を図る。

2 小規模土地改良：157,683千円

国庫補助の対象とならない受益面積がおおむね2ha以上の地域で実施する農業基盤整備に都が単独で補助し、地域の実情に即した整備を進め農業生産性の向上に資する。

3 農地防災：206,935千円～ため池整備、用排水施設整備、農業用河川工作物応急対策

農地及び農業用施設における災害の発生を未然に防止するための工事を行う。

4 未来に残す東京の農地プロジェクト：662,885千円

農的利用に向けて区市町村が公有地を農業公園等に整備する取組や、農家が所有するアパート等を農地に転換する取組、農地の多面的機能を発揮させる取組等に対し支援する。

令和5年度農業基盤整備関係予算(案)（農業振興課）（歳出ベース）

予算事項名	令和5年度	令和4年度	比率	
	予算額(千円)	予算額(千円)		R4比
基盤整備促進(公)	135,669	24,637	↑	550.7%
地域農業水利施設ストックマネジメント(公)	131,900	103,491	↑	127.5%
小規模土地改良(単)	157,683	151,308	↑	104.2%
農村総合整備(公)	30,105	13,089	↑	230.0%
土地改良指導等(公・単)	801	997	↓	80.3%
畑地灌漑施設等実態調査(単)	2,536	2,536	→	100.0%
魚の遡上を阻害する土砂撤去等(単)	7,700	7,700	→	100.0%
農地防災(公)	206,935	129,186	↑	160.2%
農地及び農業用施設災害復旧(公)	1,000	1,000	→	100.0%
小笠原農業基盤整備(公)	150,000	138,568	↑	108.3%
小笠原農業基盤施設等維持補修(単)	250,138	155,709	↑	160.6%
都市農地保全支援プロジェクト(単)	0	316,814	↓	0.0%
農地の創出・再生支援事業(単)	0	36,864	↓	0.0%
未来に残す東京の農地プロジェクト(単)	662,885	0	↑	皆増
水土里保全活動支援(公)	2,950	3,016	↓	97.8%
DXによる農業基盤の防災力強化(単)	535,942	395,907	↑	135.4%
合計	2,276,244	1,480,822		153.7%

第44回（令和4年度）全国土地改良大会 沖縄大会

<大会スローガン>

みどり ひら よ
水土里の拓くみるく世を

な くに
鳴らしとうゆまし 守禮の邦から

第44回全国土地改良大会沖縄大会は、沖縄県の本土復帰50周年を記念し2022年11月22日(火)、沖縄県沖縄市の「沖縄アリーナ」に全国から2,300名余の土地改良関係者が参加して開催されました。

第43回群馬大会が、新型コロナウイルスまん延防止対策のため1年延期され、昨年もウェブ開催となったことから3年ぶりに一堂に会しての開催となりました。

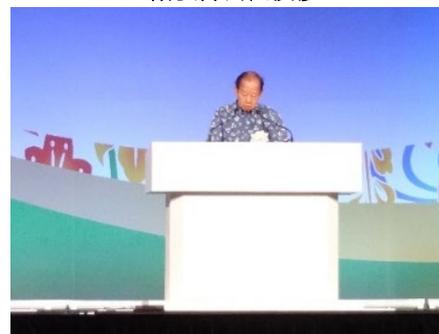
式典に先立って、沖縄の伝統武術である空手の迫力ある「団体形演武」のオープニングセレモニーで迎えられ、観光親善大使ミス沖縄から沖縄の紹介で大会を盛り上げます。式典は、開会宣言の後、沖縄県土地改良事業団体連合会の古謝景春会長から開催県として「今こそ、農業と農村地域の持続的発展による自給率向上が必要であり、これまで以上に農業農村整備事業を推進することが重要。豊かな水土里の素晴らしさを全国へ発信し農業・農村の振興に取り組んで参りましょう。」との挨拶がありました。

全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長からは主催者として「予算獲得に向け、闘う土地改良標榜しており、全国の農業を守る農業関係者の皆さんの期待に応えるため、一致団結して闘っていかうではありませんか。皆で頑張ることを誓い合う沖縄大会に！」との力強い挨拶があり、続いて玉城デニー沖縄県知事・桑名朝千代沖縄市長から歓迎の言葉がありました。農林水産副大臣はじめ沖縄県選出の国会議員などからの来賓祝辞、都道府県水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子、宮崎雅夫の両参議院議員から祝辞がありました。

次に土地改良事業に功績のあった方々の表彰、そして農林水産省農村振興局安部伸治次長の「夢(いみ)をつなぐ土地改良」と題する基調講演では、「沖縄の農業・土地改良の歩み」「土地改良をめぐる動き」「未来の夢に向かって」の3つの柱で講演され、未来の夢として「スマート農業の展開」「農産物の輸出促進」「農業のグリーン化」「安全・安心な農村地域の実現」の4つの夢を掲げ、それぞれの実現に向けて農地整備や排水改良、かんがい用水の有効利用、基盤整備と気候変動への対応など、土地改良が果たしていく役割について、分かり易く未来に夢がもてる内容でありました。

その後、優良事例の紹介、大会宣言は沖縄県土地改良事業団体連合会職員の知念智子さんと島袋朝気さんが「持続的な農業・農村を可能とするため、水・土・里を守り、引き継いでいくこと」を力強く宣言されました。式典の終わりに次期開催県である福井県へ大会旗が引継がれ山崎正明会長から挨拶があり、大会は盛会のうちに終了しました。

二階俊博会長挨拶



第45回（令和5年度）全国土地改良大会 福井大会

～福井大会～に皆様の参加をお待ちしております！！

「^み^ど^り水土里」がある

「^{しあわせ}幸福」がある

「笑顔」がある

～ふくいで語る土地改良の未来～

第45回 全国土地改良大会

福井大会

2023.10.11(水) サンドーム福井

【主催】 全国土地改良事業団体連合会 福井県土地改良事業団体連合会

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2022

日時・場所

令和4年12月4日～12月11日 上野 東京美術館

主催

全国土地改良事業団体連合会、都道府県土地改良事業団体連合会(愛称:水土里ネット)

企画の主な目的

子ども達に、農業・農村の豊かな自然や風景、大切な水路を守っている人たちの姿を見つめて心に残してもらおう。

応募の結果

本展は9月8日に締切り、全国から約3,000点の応募がありました。

審査会において審査の結果、入賞6点、企業賞25点、入選126点、地域団体賞44点が選定されました。都内では「水土里ネット東京会長賞」と「佳作」10点が選定されました。



水土里ネット東京会長賞

(作品名) 実ったなし園
(作者) 梅澤 ひびき
国立市立国立第三小学校



「ふるさとのたんぼと水」子ども絵画展 2022

佳 作

(作品名) 夏のたんぼ
(作者) 岩本 実沙紀
小平市立小平第六小学校



(作品名) おいしい夏野菜をめしあがれ!
(作者) 三木 陽彩
小平市立小平第六小学校



(作品名) 田植え体験
(作者) 田村 海翔
小平市立小平第六小学校



(作品名) 町田の自然
(作者) 関 恭太
小平市立小平第六小学校



(作品名) ゆたかなたんぼ
(作者) 船津 茉莉
小平市立小平第六小学校



(作品名) ゆたかなたんぼ
(作者) 保母 和花
国立市立国立第三小学校



(作品名) とれたてのなす
(作者) 河口 楓
国立市立国立第三小学校



(作品名) 日本の農業を支える農家
(作者) 岡田 昊
国立市立国立第三小学校



(作品名) 笑顔いっぱいの黄金のトウモロコシ
(作者) 小松 華
国立市立国立第三小学校



(作品名) 自然の生物たちとの農作業
(作者) 竹内 慎之助
国立市立国立第三小学校



「農業農村整備の集い」の開催

～ 闘う土地改良 ～

令和4年10月20日 砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

令和4年10月20日(木)千代田区永田町のシェーンバッハサボーにおいて、令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算の確保に向けた「農業農村整備の集い」が、多数の国会議員を含む1,000名を超える土地改良関係者が全国から参集して開催されました。

農林水産省からは藤木農林水産大臣政務官をはじめ、農村振興局長、同次長らの幹部が出席しました。開会にあたって、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長から「現在、来年度予算の折衝が続けられているが、農家の皆さん方の期待に応えられる予算の確保に一致団結して取り組んでいる。また、男女共同参画の取り組みを本格化させる時期に来ており、理事の10%以上を女性にするなど、女性の登用を推進する目標に集中的に取り組むことをお願いしたい。『闘う土地改良』は限りなく続く、さらなる闘いを続けるようお願いする。」とあいさつを述べました。

来賓の祝辞で藤木農林水産大臣政務官は、「農地や農業用施設といった農業にとって必要不可欠な生産基盤を強化することが重要であり、このための農業 農村整備事業を着実に進める必要がある。食料安全保障の強化や防災減災・国土強靱化対策等に万全を期することができるよう、全力で取り組んでいく。」と述べられました。また、進藤金日子参議院議員で都道府県水土里ネット会長会議顧問から「電力料金補填対策あるいは当初予算の確保などいろいろな面で宮崎議員と力を合わせて、しっかり頑張っていくので、引き続き皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます」と述べられた。来賓紹介の後、土地改良における男女共同参画を先駆的に実践している、水土里ネットやまなしの顕著な活躍を称えて、二階会長から感謝状が授与されました。

「農業農村整備の集い」の要請案文を来年度全国土地改良大会開催の福井県土連 野坂専務理事が朗読し全会一致で採択しました。

宮崎雅夫参議院議員・会長会議顧問からは、「電力料金の高騰、水田活用直接支払い交付金の見直し、防災減災・国土強靱化について」の情勢報告があり、最後のガンバロウ三唱は、11月に全国土地改良大会を開催する沖縄県土連知念副会長の発声で参加者一同の唱和に代わる盛大な拍手で閉会となりました。

集いの終了後、都道府県水土里ネットの代表者が、政府、国会議員などに要請活動を行いました。

二階会長挨拶



土地改良区に女性理事を

今、はじめる。まずはあなたの土地改良区から—



いざ、スタート。2025年度に向けて—
この町の土地改良は、みんなで支え合う

女性理事
登用

2025年度までに
女性理事が占める割合を0.6%→10%以上に!

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

成果目標

全国の土地改良区(土地改良区連合を含む)において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

計画:第5次男女共同参画基本計画(2020.12)、
土地改良長期計画(2021.3)

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます(定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能)。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体に役員を務めている方などの参画が期待できるのではないのでしょうか。



女性職員
登用

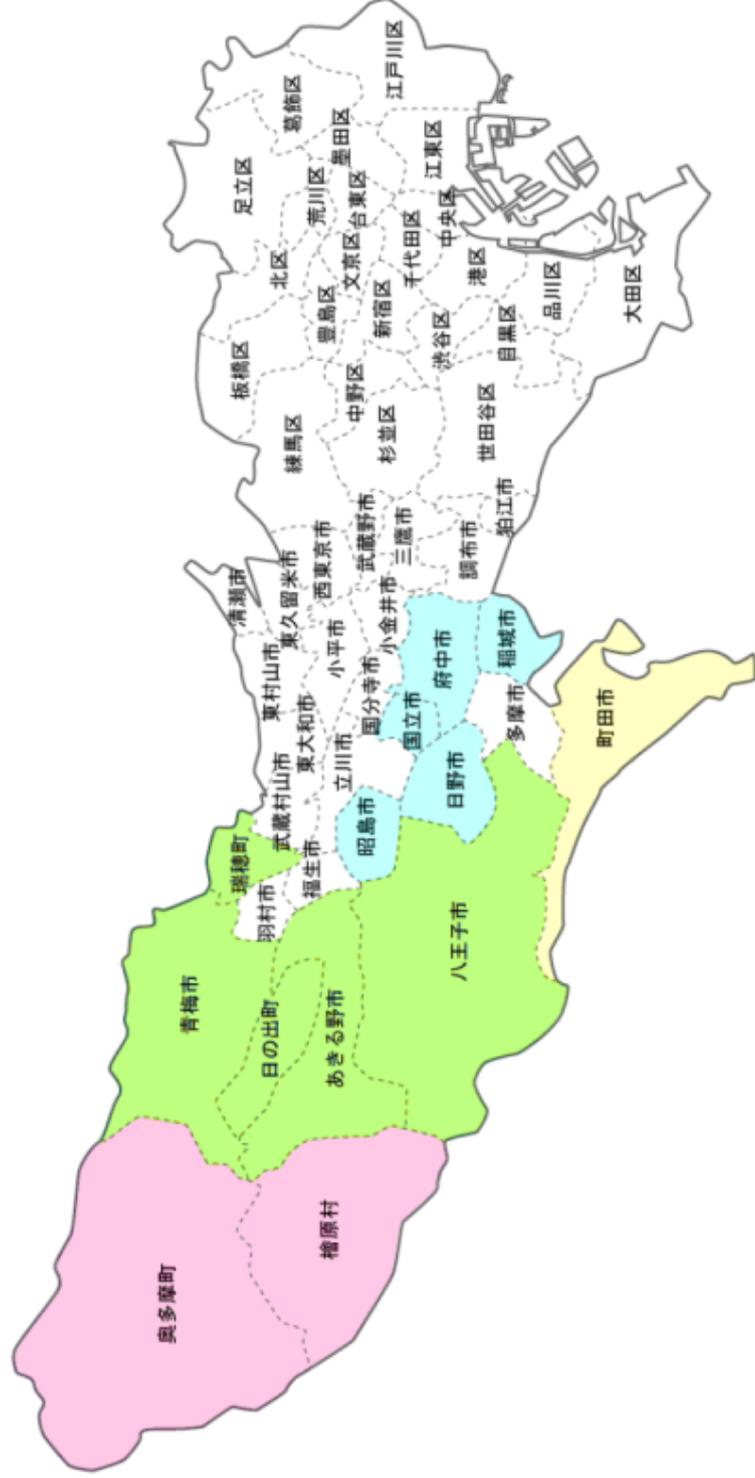
働く場を、再点検

これを機に、土地改良事業団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか?無意識の思い込み(お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など)はありませんか?育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できるところから改善を。誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。

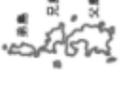


全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

水土里ネット東京 会員一覧



- 会員(土地改良区):5
- 農業振興地域設定(市町村会員):10
- 山村離島振興地域指定(町村会員):5
- その他 地域指定(会員):1

 <p>大島町 大島</p>	 <p>利島村 利島</p>	 <p>新島村 新島</p>	 <p>新島村 新島</p>	 <p>神津島村 神津島</p>	 <p>三宅村 三宅島</p>	 <p>御蔵島村 御蔵島</p>
 <p>青ヶ島村 青ヶ島</p>	 <p>八丈町 八丈島</p>	 <p>小笠原村</p>				
 <p>小笠原村 小笠原島</p>	 <p>小笠原村 小笠原島</p>	 <p>小笠原村 小笠原島</p>				



みどり
水土里ネット

地域で守ろう豊かな自然

<http://www.midorinet-tokyo.or.jp>

発行元

東京都土地改良事業団体連合会
東京都立川市錦町3丁目12番地11号

TEL : 042-548-0371 FAX : 042-548-0375
URL : <http://www.midorinet-tokyo.or.jp>